

暦日 病日	入院(手術前日)	術前	術後	術後1日目
治療・処置		午前中に点滴をします。 点滴は翌日まで続けます。 	点滴は翌日まで続けます。 抗菌剤の点滴をします。 手術室から尿の管が入ってきます。 酸素吸入を麻酔科の指示で行います。 足に血栓予防のフットポンプを着けます。	抗菌剤の点滴をします(朝・夕)。 尿管を抜きます。 回診時、創を消毒します。  足のフットポンプは足の動きを確認してから外します。
一般検査				血液検査をします。 
観察	体温・脈拍・血圧を測定します。 症状をお聞きします。 		痛み、しびれ、出血などを観察をします。	
栄養	普通食です。必要時、治療食になります。 麻酔科の指示で水分や食事の摂れる時間が決まります。禁飲食の時間を説明します。	食事は摂れません。水分は指示の時間まで摂れます。 		お腹の動きを確認してから水が飲めます。 気分不快がなければ、食事が摂れます。
活動	制限はありません。	点滴後ベッド上安静です。 トイレのみ歩行できます。	ベッド上安静にしてください。	膝屈曲装具を装着をし車椅子に乗れます。 足はまだつけません。 
清潔	シャワー浴を行い皮膚を清潔にします。 			体を拭いて着替えます。
説明・指導	入院生活について説明します。 主治医が手術について説明します。 手術室看護師が術前訪問します。 薬剤師が内服薬の確認をします。	麻酔科医師の指示で内服する薬がある場合は、少量の水で飲みます。	主治医が手術後の結果についてご家族に説明します。 	車椅子の乗り方・運転の練習をします。
確認事項 その他	入院前の生活についてお尋ねします。 手術同意書に署名していただきます。 手術の必要物品を確認をします。 薬剤師が内服薬の確認をします。			

\* 状況に応じて予定が変更になる場合がありますので、ご不明な点がありましたらお尋ね下さい

暦日 病日	術後2日目	術後3～6日目	術後7～8日目	術後9～18日目	術後19～20日目	術後21日目(退院)
治療・処置	抗菌剤の点滴をします。 (朝・夕)(3日目まで)		回診時、創の消毒を行い、 糸を抜きます。(7～10日目) 			
観察	膝の屈曲状態、歩行状態を 観察します。					
栄養	制限はありません。 					
活動	リハビリ室でリハビリが 始まります。 筋力、関節の曲がる角度 を評価します。 松葉杖を使い体重をかけず に歩く練習をします。		ベッドで機械を使って膝を 曲げる訓練をします。	装具(ドンジョイ)を着けます。 (8～10日目) 医師が腫れや痛みの状況に あわせて行います。 	体重を1/3かけて歩く練習 をします(14日目)	1/2荷重のまま退院します。
清潔	体を拭いて着替えます。			糸を抜いた翌日から シャワー浴ができます。 		
説明・指導	看護師が荷重の予定に ついて説明します。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">2週～ 1/3荷重 3週～ 1/2荷重 4週～ 2/3荷重 5週～ 全荷重</div>			主治医が退院について 説明します。 	看護師が退院後の生活に ついてや松葉杖の貸し出し について説明します。	装具は3か月間装着します。 手術後5週から全部の体重 をかけて歩けます。 薬剤師が服薬指導をします。
確認事項 その他						次回外来受診日をお知らせ します。 診察券をお渡しします。

\* 状況に応じて予定が変更になる場合がありますので、ご不明な点がございましたらお尋ね下さい。